

エピホンギターのPRのページ

EPiPHONE

の生いたち

EPiPHONE ELECTRIC GUITARSは1930年代にGibsonの故郷ミシガン州カラマズーで生まれた。1873年創立以来のスパニッシュギターの技術をふまえて、今で云うエレクトリックアコースティックを中心に、エレクトリック・スパニッシュギターと名づけて発表したのです。

そして1956年から、C-M-I (CHICAGO MUSICAL INST.)—1944年以来、Gibsonの総発売元として活動——とGibsonの輸入取り引きを始めていた私たちは、1960年初頭、それまで幻想的にさえ語り伝えられていた銘器EPiPHONEを初めて日本に紹介しました。EMPEROR, RIVIERA, CASINO, WILSHIRE, NEWPORT達の雄姿を実際に手に取ってみるまで実に30年もかかったのです。カラマズー工場では、レスポールに代表されるGibsonブランドの華麗なギター作りとは対照的に、RIVIERA, CASINOに象徴されるEPiPHONEはエレクトリックアコースティックを中心に、洗練したハンドワークをしています。それだけにプロミュージシャンの間では絶対的な信頼を集めギブソン社のシンボルとしてレスポールとともに並び称されました。



Mr. BRUCE BOLEN

EPiPHONE

"World Famous Quality Since 1873"
"Designed & Approved by" Gibson.
A "Product of" Norlin Music, Inc.

ブルースを歌う CASINO

メープルボディは、RIVIERAに比べ薄く、軽快なサウンドもメープルでコーティングされたバードヘッド・ボジョーン・マウンテンレイ。16フレットでのフィックス・トナックは、ナット部140%のスリムライン・傾斜・ネック。それにシングルコイル・ダブル・マグネット・P.U.——と名知CASINOの仕様です。ギブソン社の技術をそのまま持ち込んだダブル・マグネット・システムのシングルコイル・P.U.と伝統が完成した、ソノンスのよいシングル・ボディーとのからみが生むブライトなサウンドとよくメロウなトーン——これこそが、ブルースメンが求めつづけるCASINO SOUNDです。ブルースをやるには欠かせないアドリブでのドライブ、泣き、オフ・ガードでのソフキ、バックアップでのキレの強さとプレーヤーのソフキをそのまま歌い上げます。オーティス・ラッシュに代表されるシカゴブルース・メン・ジョン・レノックス・モース・リチャードなど世界のプレーヤーをとりこにする秘訣はここにあります。(ナチュラル・サンバースト)

セミアコの名詞 RIVIERA

RIVIERAは、EPiPHONEのエルダー・ブラザーらしく、早くからプロミュージシャンの間で信頼の証を受けているモデルです。メープル・ネックは、16フレット・フィックス・トナック、ナット部143%と本格派な設計のフター・スタグ・ジョイント・ネック。メープル・ボディは、もちろん、メープル・センター・ブロックでセンター・ラインをコンタクト。この完璧なボディとEPiPHONEアルニコ・ハムバッカーの組み合わせはセミアコの名詞そのもので、バブフルなサウンドは、レスポンス、サステーンに優れ、タイトなリッド・トーンからメロウなアコースティック・トーンまでとトーン・レンジは「ワイド」なプレーヤーへの応答性は抜群です。「セミアコ」と言えばRIVIERA——この伝説的辞書にふさわしい内容です。(チェリー・フィン・ウォール・ナット)

それから数年後、この銘器を私たちが手がけることになるとは想像さえしていませんでした。1962年EPiPHONEは、カラマズーからマツモトに移り、マツモク工業で作られることになったのです。エクスポートモデルから出発したEPiPHONEはギブソン社の徹底した技術指導のもとに育成され、確実に私たちはEPiPHONEの名を継承してきました。以来休むことなく技術の交換、開発は進められ、ついに1975年EMPEROR, RIVIERAなど、かつての銘器の再現を果たし、1976年CASINOの復活をも成し遂げました。

1930年以降の約半世紀に及ぶ伝統技術はマツモトの工場に脈々と流れ、そこで生み出されるEPiPHONE。AriaDreIIは、その伝統とブランドの重みをかみしめたクラフトマンによって育てられた、ギブソンファミリーの一員なのです。



CASINO ¥65,000-



RIVIERA ¥79,000-

発売元 ARIA 荒井貿易株式会社		本社 東京都千代田区三崎町3-5-6 電話 (03)230-2061代 大阪 大阪市東区谷町4丁目45 電話 (06)945-0691代 福岡 福岡市博多区博多駅南1-5-15 電話 (092)451-4185	販売元 マツモク工業株式会社 松本市並柳11-4	
---	--	--	--	--



EMPEROR ¥124,000-

Mr. BBとEPIPHONE

1962年、私たちがEPIPHONEを始めて以来15年間休むことなくギブソン社との技術交換・共同開発は続けられています。ギブソン社の開発部門ヘッド兼顧問プレーヤーMr. BRUCE BOLENはこの仕事には欠かせないメンバーであると同時に良き友人でもあります。1967年以来10年間に亘ってGibsonの改良・開発に重大な役割を果たしている彼は、当然のようにEPIPHONEにも大変な力の入れよう、年に3回は来日し、手紙のやりとりは一週間とあけたことはないほどです。

ジョニー・スミス、レス・ポール、ジーン・クルーパー、エディー・ハリス、ハーワード・ロバーツ、などソウソウたるメンバーとバンドを経験し、数々のレコーディングにも参加している実力派だけに、プレイヤービリティと音については厳格なものです。フレットの打ち込み



状態・エッジ処理、ファイリング処理ネックの形状、仕込角度、ハードウェアのセッティング、P.U.の選択については一切の妥協も許さず、私たちは激論を戦わせ、納得のいくまで試作・改良を続けます。

今回もNEW MODEL CASINOをはじめ、EMPEROR, RIVIERA, WILSHIREなどを丸一日弾きまくり、様々な指摘・サジェスションを提出し、綿密な意見交換を行いました。特にシールドボックスの完成は、フルアコプレーヤーの彼を喜ばせました。

EPIPHONE

Super craft Emperor

EPIPHONEはいつでも、その歴史をふまえて作られています。長い歴史をもつもののみが有するトラディショナルな円熟した味わい、風格をEMPERORはごく自然に体現しています。

完全無欠なグランドオーディトリウムサイズのメイプルボディにマルチプルバインディングとイホールバインディング。塗っては研磨をくり返す数度塗り。

ヘビーゲージの張力に十分耐えられるように、張力方向に対応して木目を決定して設計されるファイブプライメイプルネック。エボニー指板には、フレットエッジバインディングとパールポジションマークインレイ。これら組み立てを経て完成するまでに90日もの日数をかけます。これは、最近では常識的に使用されている即乾性グルーをあくまで避け、伝統的に受け継がれた遅乾性グルーに固執し、一見無駄とも思われるぬかし時間をかけているからです。長い歴史が語る「時間をかけること」の重要性を熟知しているからです。この旧式で、しかし最も本質的な工法の一つ一つが、それ自体、1873年以来クラフトマンの手から手へ伝承されたEPIPHONE. そのものを、何よりも如実に物語っています。EMPERORはEPIPHONE. 伝統技術の結晶です。

友人、ブルース・ボレン

ブルース・ボレン——私たちの十年來の良き友人は、尋ねてみると大変な経歴と実力の持ち主でした。

J. Smith, H. Roberts, G. Crupa, E. Harrisとのレコーディングは、数知れず、現在に至っては、T. Hall, J. Passあたりにつぐ実力派で、1944年生まれ32才の若き本格派ジャズマンのホープなのです。1976年のシカゴNAMMショーでの、H. Robertsとのデモセッションは大変な人気でした。

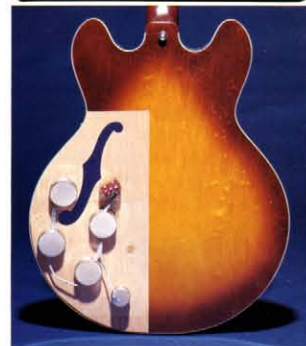
若いと言ってもギター歴は6才の頃からというから大変なもので、まるで生きもののような音をはき出すギターワークは、1973年来日の折にも見せつけられビックリした人も多いと思います。

今使用しているギターは、H.R. Custom, L-5ボーレンモデル、EMPEROR、それになんとExplorerだそうです。

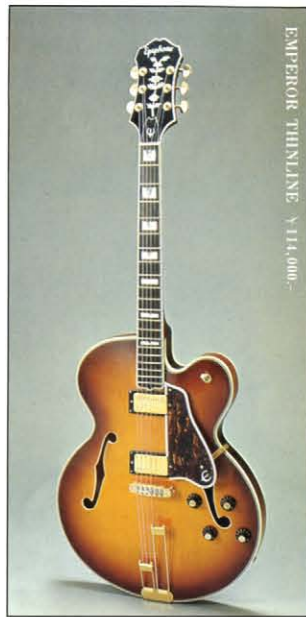
ギターに上達するにはまず何と言ってもギターを愛すること、それに偏見をもたずあらゆるタイプのギタージャンルを弾きこなせるように努力することだ」とのことでした。

最後にEPIPHONEについては「どんなギターでもこれで充分ということはないが、かなり良くなってきており、アメリカでの評判もよく、日本のプレーヤーにやっとスめられるようになった。今後はもっと期待できる」と言っていました。

シールドボックス完成!



EPIPHONE. *Audio Precision* スタッフは、エレクトリックアコースティックギターをさらに完成度高くするべく、ギブソン社の指導によってカジノよりシールドボックスを全モデルに採用します。ポリウム、ジャックを完全にシールドしたため、ガリ・接点不良の原因となるホコリも防ぎ、信頼度は一段とアップしました。



EMPEROR THINLINE ¥114,000-

Rock'n Roll star EPIPHONE solid body line up



OLYMPIC ¥89,000-



OLYMPIC CUSTOM ¥96,000-

EPIPHONEはすべて、プレーヤーのミュージカルパーボスを尊重したギター作りを大切にしています。

様々なジャンルがあり、様々なスタイルのプレーヤーがいることを念頭にラインアップされているのが、WILSHIRE, OLYMPIC (CUSTOM), NEW PORT達ソリッドボディラインです。



メイプルソリッドボディ21フレットフィックストネックは、スリムラインのイージーハイアクションメイプルネック EPIPHONE ハムバuckerにストップテールピース。XLゲージでもテンションバランスは素晴らしい、クリアでノビの良いバイティングトーンは、ロックンローラーには最適の「ハイレイニング・リードギター」WILSHIREです。(ナチュラル サンバースト

ウォールナット)

OLYMPICは、メイプルカーブドトップのソリッドボディ。メイプルフィックストネックは、ハイポジションでのふくらみを押えた水平ネックで、グローバーワインダー・ワイドトラベルテールピースブリッジと機能性は完全で、あらゆるゲージも使用可能なマルチプルバースタイプ。さらに、トレモロユニットを簡装した、OLYMPIC CUSTOMはオールマイティープレーヤー向き。EPIPHONE CUSTOMハムバucker P.U.は深みのある中域と、しめった低音、クリアなハイトーンのバランスに優れたサウンドです。

(ナチュラル ウォールナット)

NEW PORTはメイプルの通しネックロングスケール、ローズ指板でワイドレンジシングルコイルバース用P.U.を2個マウントし、軽量のメイプルボディからは思わぬタイトな重低音が特長で、ロックンロールベースマンに人気のあるモデルです。(ナチュラル ウォールナット)



WILSHIRE ¥59,000-



NEW PORT ¥78,000-

Rock'n Roll star
EPIPHONE
solid body line up

Aria Pro II

LIMITED EDITION

●LP-650 ¥65,000
(別売専用ケース ¥10,000)

つい最近完成したばかりの、ご存知ピーター・フランプトンモデル。プロIIアルニコハムバッカーゴールドプレートを、3個マウントしたもので、ホワイトRGにホワイトエスカッション。



もちろんソリッドメーブルトップ、メーブルフィックストネック、オールゴールドハードウェアースビードノブの本格派。ブラック(B)の他にチェリー(CH)ナチュラル(N)もできます。

●RG-680 ¥68,000

リッケンバックシリーズの第2弾、620番のモデルです。メーブルセットネック、メーブル単板ボディにRG用シングルコイルPU、ロトマチックワインダーといった仕様。もちろんスタンダード+ステレオジャック付、パラ



ンサーボリューム付のRick

O-Soundシステム内蔵です。

小柄なボディとショート

スケールネックは弾き安く、ちょっとかわったタッチです。カラーは、ナチュラル(N)、チェリー(CH)、ブラック(B)を予定しています。

●ES-700ST-CW ¥70,000
(別売専用ケース ¥12,000)

N.G.D.Bのボブ・ウェインが今も愛用するES-335Tモデル。これは、Gibson社の1958年作のもの。レギュラーラインのES-700のファンの強い要望に応えて企画開発したものの。もちろん、センターブロックコンクリートのボディでストップテールピース。



それにアメリカ生まれのセラミックを使ったオールトーンハムバッカーをのせたため、音のノビ、チョーキングでのキレは抜群です。カラーは、チェリーワイン(CW) サンバースト(SB)にバイオリンフィニッシュ(VS)を用意しています。

もうすぐ出番——仕上り待つNEW MODEL



Aria Pro II LIMITEDスタッフは秘かにオリジナルの試作を進めています。スタッフのアイデアをフルにひねくって考えたものですが、そのうちソリッドギター2モデルが、完成間近になっています。うち1モデルは、思考にくたびれてしまっ、わけのわからぬうちにできたのが足の天神をもつギターです。これは別に本気になってやっているのが、削り出しのワンピースメーブルボディとメーブルセットネックの本格派があります。P.U.はやっぱり依頼していたアメリカの某社が送ってきましてので完成は間近になってきました。ハードウェアやセット方式、カットウェイなどで演奏性と美しさを兼ねそなえた開発をしています。又ベースも進行中です。PRO II オリジナルモデルについての中間レポートでした。

Aria Pro II LIMITED EDITIONで何ダ?

Aria Pro IIでは、レギュラーラインとは別にLIMITED EDITION限定生産ラインがあります。ギター作りは夢をかけるスタッフでチームを組み、別ラインでハンドワークによって製作するだけに数量も限定されています。他に言うオーダーメイドや受注生産システムとは一味違って、あくまでも楽譜として残っているモデル、デザイナー・エンジニアのアイデアを生かして内容を決定してゆきます。モデルの決定についてもプロIIスタッフ内ばかりで、素晴らしいアイデアや知識をかけることで提供して下さるユーザーの皆さん、デザイナーの皆さんの意見が大きな要素になっています。要するに、彼田夢と云えばギターのことばかりと言った覚悟べきギタキ手の確りガリディッドシリーズを生み出していると言った良いと思います。このリミテッドシリーズは、カタログにはのっていないものが多いのですが、田中Music Life、Rocking、Musicianなどの方には、完成したモデル、作中のもの、試作プランなどを発表している中で、立ち読みしてでも目を光らせておいて下さい。完成品は口伝とほもそのお店にゆけば分かるようになっていきます。同じ数量が限定されています。その上1回のみで生産を中止してしまうものもあるのです。折につけてお店に足を運んで下さい。又、良いアイデア、どうしてもないもの、ご質問がありましたら、ドシドシお便りを下さい。所井賢朗とアリアプロIIリミテッドシリーズ企画室より

●EX-750N ¥75,000 (別売専用ケース ¥10,000)

最近Gibsonもリバイバルさせた、エクスプローラーモデル。アメリカ生まれのセラミックを使用したプロハムバッカーをオールトーンに設計したP.U.をマウント。巾が広めで、ハイポジションで肉のダブつかないネックは、オールスタイル設計をし、オールワルドのフンイキがムンムンです。ボディはセン、メーブルフィックストネック、プロIIオリジナルロトマチックワインダーで75,000円。次回はリック・デリンジャー・マナー愛用のP.HAMERモデルのギターとベースを予定しています。

メーブルとマホガニーのラミネートボディにアイボリーセルバインディング。もちろんマホガニーセットネックでアメリカのトップノッチP.U.メーカーに特注したプロII専用のスーパーディストーションP.U.をマウントする予定です。残念ながら価格は未定。

PB-750JN JB-800JN 別売専用ケース¥13,000

カタログVol. IIでも紹介した、スーパーベース。ネックスPUにいたるまでオールトーンの良さを徹底追求したモデル。ネックはむしろメーブルワンピース。これに、オールトーン・フェンダーの中でも数少ないハカランダを指板に用いたもので、プロベースマンをウナラせたネックです。言うまでもなくハカランダはローズの中の最高級品ですが、この厚さ15%のハカランダ単板を、端まで2%までアール状に削り落して作った、ゼイタクな指板で、木目のアレもなく密で堅いため最高のタッチです。P.U.はPB用、JB用とも新開発の「ダブルジャズ」、JB用「スプリットベース」、PB用で「スプリットベース」の重量感あふれるトーン、「ダブルジャズ」のレスポンスの良い甘いトーンが対照的です。ボディはホワイトアッシュ単板、ネックともども、もちろんカシウフィニッシュ。他にサンバーストもあります。

PB-750 ¥75,000 JB-800 ¥80,000

●RB-700N ¥70,000
(別売専用ケース ¥10,000)

話題のボール・マッカートニーモデル。リッケンバックの4000番のダブルマイクモデルで、セルまきなしのソリッドメーブルボディと丸ポジションが良くマッチしたシンプルなRBモデルです。もちろんセットネックで定価70,000円という、コストパフォーマンスが売りもの。

ちょっと前に12本 つくったんですがあっという間に売り切れでバックオーダー殺到のモデル。12月に再生産予定です。

●この他に、ES-330モデル、コイルタップSWモデル、THIN LINEのオールスタイル、リッケンバック・セミアコなど、コストパフォーマンスを基に開発してゆく予定です。